

編集後記

「岡山大学環境管理センター報」第4号をお届けします。環境管理センターの発足に伴い本報もその装いを従来の「施設報」から「センター報」に改めました。

さて新しく発足した本センターが従来の環境管理施設と大きく異なるのは、その守備範囲の拡張がまず第一に挙げられるのではないのでしょうか。すなわちこれまでは比較的濃厚な実験廃液が主な対象でしたが、今後は学内から排出される全ての排液が対象となります。従って、敢えて極言すれば、本報も従来は限られた数の研究室に関係する人々をその読者としてきましたが、一挙に津島キャンパスで生活する全ての人へ情報を提供する義務を負ったことになります。

昨年度から始まった排水整備のための工事は、今後数年間は津島地区のあちこちで続けられるでしょう。あるいは何のための大工事といぶかしく思われる方もおられるかも知れません。

そこで、より広範囲の人々に、岡山大学の排水整備計画の全貌を知っていただき、その目的と必要性をご理解していただけるようにと本号を企画いたしました。このように勝手な編集子の願いを心よく聞いていただき、お忙しい中執筆していただきました方々に厚くお礼申し上げます。

センター報について、あるいは本センター利用上でのご意見やご希望をお待ちしています。

(北村 吉朗)

広報出版ワーキング・グループ委員

篠田 純男	斎藤 清機	北村 吉朗
仲原 典子	伊永 隆史	須藤 繁雄

岡山大学環境管理センターに関する印刷物

- 岡山大学特殊廃水処理施設年報 (昭和51年度)
- 岡山大学環境管理施設有機廃液部門利用の手引き (昭和53年8月)
- 岡山大学環境管理施設無機廃液部門利用の手引き (昭和54年7月)
- 岡大広報 No.37 (1978. 12. 20)
- 岡山大学環境管理施設報第1号 (昭和54年10月1日)
- 岡山大学環境管理施設報第2号 (昭和55年7月1日)
- 岡山大学環境管理施設報第3号 (昭和56年10月1日)